



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月19日

上場会社名 株式会社極楽湯ホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 2340 URL <https://www.gokurakuyu-holdings.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長グループCEO (氏名) 新川 隆丈  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 鈴木 正守 (TEL) 03-5275-4126  
定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	12,768	27.2	40	—	184	△75.5	△304	—
2022年3月期	10,036	14.5	△568	—	751	—	△1,979	—

(注) 包括利益 2023年3月期 △286百万円(—%) 2022年3月期 △2,107百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	△14.20	—	—	1.1	0.3
2022年3月期	△99.20	—	△577.6	4.2	△5.7

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	15,171	149	△0.9	△6.04
2022年3月期	17,274	△12	△2.0	△16.33

(参考) 自己資本 2023年3月期 △137百万円 2022年3月期 △337百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	836	175	△1,755	5,429
2022年3月期	1,499	△655	456	6,172

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

2024年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の経済活動への影響や、世界的なエネルギーコストや原材料費の上昇、円安等の不確定な要素を現時点において合理的に算定することが困難であるため未定としております。今後、合理的な算定が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
新規 一社（社名）— 、除外 一社（社名）— : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	22,808,300株	2022年3月期	20,662,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期	75株	2022年3月期	75株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	21,441,635株	2022年3月期	19,952,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16
4. その他	16
(1) 役員の変動	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の緩和が進み、緩やかに改善の兆しが見られました。一方で、長期化するウクライナ情勢、急激な為替の乱高下、円安の進行によるエネルギーコストや原材料価格の高騰等により経済全体における先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおいては、連結売上高12,768百万円（前期比27.2%増）、営業利益40百万円（前期営業損失568百万円）、経常利益184百万円（前期比75.5%減）、親会社株主に帰属する当期純損失304百万円（前期親会社株主に帰属する当期純損失1,979百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

#### ① 日本

当セグメントにおきましては、売上高11,667百万円（前期比38.8%増）、セグメント利益（営業利益）584百万円（前期セグメント損失476百万円）となりました。

当連結会計年度における日本の業績は、夏に新型コロナウイルス感染症の感染者数が過去最大を記録したことや、エネルギーコスト高騰の影響等があったものの、「鬼滅の刃」や「SPY×FAMILY」、「カラフルピーチ」、「ワイテルズ」、「ブルーロック」等の様々なアニメコンテンツやYouTuber等とのコラボイベントが好調に推移したことに加えて、入館料を全店で値上げしたことや緊急事態宣言等による営業制限（店舗営業時間の短縮、アルコールの提供停止、飲食エリアの時短営業等）がなかったこと等により売上高は大幅に増加し、増収増益となりました。

#### ② 中国

当セグメントにおきましては、売上高1,101百万円（前期比33.7%減）、セグメント損失（営業損失）393百万円（前期セグメント利益45百万円）となりました。

当連結会計年度における中国の業績は、中国政府によるゼロコロナ政策に基づき、前期に臨時休業していた長春市と上海市の直営3店舗が2022年6月から7月にかけて順次、営業を再開しましたが、その後も行動制限等の厳格な感染予防対策が継続的に2022年12月頃まで実施されました。また、ゼロコロナ政策が解除されたあとも感染が拡大したこと等が消費マインドが持ち直すまでには至らなかったこと等が客数に影響し前期に比べ売上高は減少しセグメント損失となりました。

新規出店に関しては、いずれもパートナーシップ運営（FC形式）により、2022年11月吉林省吉林市に北大湖温泉館を、2023年1月と2023年3月には上海市に臨港温泉館と旅籠温泉酒店をそれぞれオープンしました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,102百万円減少し15,171百万円となりました。これは主に、投資有価証券の譲渡があったものの、借入金の返済により現金及び預金が742百万円減少したことや、減価償却費及び減損損失により有形固定資産及び無形固定資産が769百万円減少したことによるものであります。

次に、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,264百万円減少し15,021百万円となりました。これは主に、短期及び長期借入金が返済により2,160百万円減少したことによるものであります。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ162百万円増加し149百万円となりました。これは主に、ファシリティ型新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ243百万円増加した一方で、利益剰余金が304百万円減少したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、△0.9%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は5,429百万円（前期は6,172百万円）となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当期は、新型コロナウイルス感染症対策による行動制限の緩和が進み、売上高は前期に比べて大幅に回復いたしました。しかしながら、店舗の営業制限に伴う雇用調整助成金や時短営業協力金の入金が減少したことにより、営

業活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ662百万円減少し、836百万円の獲得となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当期は、投資有価証券の売却による収入により、投資活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ831百万円増加し、175百万円の獲得となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当期は、短期及び長期借入金の返済により、財務活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ2,212百万円減少し、1,755百万円の支出となりました。

#### (4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響による国内の経済活動の抑制は緩やかに回復の兆しがみられているものの、以前のように回復するには時間を要するものと予想されます。加えて、世界的なエネルギーコストや原材料価格の上昇、急激な為替変動等も不確定な要素であり、先行きを見通すことが非常に困難であると考えております。

2024年3月期の業績予想につきましては、引き続き未定とし、合理的に見積もることが可能になった時点で、速やかに公表いたします。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、継続して重要な親会社株主に帰属する当期純損失を計上した結果、前連結会計年度末の純資産は12百万円の債務超過となりました。しかしながら、当連結会計年度においては、中国でのゼロコロナ政策に基づく臨時休業や減損損失の計上が大きく影響し、親会社株主に帰属する当期純損失となったものの、ファシリティ型新株予約権の行使による資金調達等により、当連結会計年度末の純資産は149百万円となり債務超過を解消いたしました。

一方で、当社の有利子負債については、すべての取引金融機関からの支援（返済猶予）を受けるなど理解を得られていますが、業績や財務体質が正常化するまで支援が確約されているものではないことから、当社グループは継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、有利子負債の圧縮等により金融機関との取引の正常化の早期実現に向けて注力しております。返済原資となる資金の獲得等の取り組みにより、業績の改善及び財務資本の強化を図りつつ、当該状況の解消、改善に努めてまいります。しかしながら、これら対応策は実施途上であることから、現時点においては継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を反映しておりません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準による連結決算を実施しております。今後のIFRS（国際財務報告基準）導入に関する動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めてまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,230,695	5,487,972
売掛金	247,151	410,070
未収入金	11,751	17,587
棚卸資産	92,146	93,019
その他	306,232	139,417
流動資産合計	6,887,976	6,148,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,347,616	16,230,083
減価償却累計額	△10,198,525	△10,899,106
建物及び構築物(純額)	6,149,091	5,330,977
工具、器具及び備品	1,422,405	1,444,413
減価償却累計額	△1,196,497	△1,175,652
工具、器具及び備品(純額)	225,907	268,761
土地	1,393,241	1,393,241
建設仮勘定	5,571	18,118
有形固定資産合計	7,773,811	7,011,099
無形固定資産		
その他	33,124	26,654
無形固定資産合計	33,124	26,654
投資その他の資産		
投資有価証券	592,015	142,625
長期貸付金	421,346	423,049
敷金及び保証金	1,298,543	1,293,670
関係会社株式	326,339	345,086
その他	614,631	440,613
貸倒引当金	△673,542	△659,523
投資その他の資産合計	2,579,333	1,985,521
固定資産合計	10,386,270	9,023,275
資産合計	17,274,246	15,171,342

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	253,162	465,947
短期借入金	1,631,500	1,316,053
1年内返済予定の長期借入金	2,519,738	2,515,792
未払金	641,587	846,937
未払法人税等	248,339	77,750
前受金	1,550,606	1,618,882
賞与引当金	37,394	44,448
その他	1,109,442	680,906
流動負債合計	7,991,771	7,566,718
固定負債		
長期借入金	7,249,788	5,408,357
退職給付に係る負債	144,368	156,867
資産除去債務	1,447,104	1,463,995
繰延税金負債	403,317	387,745
その他	50,591	38,303
固定負債合計	9,295,170	7,455,270
負債合計	17,286,941	15,021,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,973,338	4,216,509
資本剰余金	3,549,472	3,792,643
利益剰余金	△7,665,630	△7,970,090
自己株式	△37	△37
株主資本合計	△142,856	39,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,808	△156
為替換算調整勘定	△191,819	△176,609
その他の包括利益累計額合計	△194,627	△176,765
新株予約権	324,789	287,093
非支配株主持分	—	—
純資産合計	△12,695	149,354
負債純資産合計	17,274,246	15,171,342

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	10,036,845	12,768,898
売上原価	9,460,867	11,442,250
売上総利益	575,977	1,326,647
販売費及び一般管理費	1,144,872	1,286,413
営業利益又は営業損失(△)	△568,894	40,234
営業外収益		
受取利息	8,286	7,470
持分法による投資利益	—	25,157
受取家賃	24,311	25,660
為替差益	467,143	7,437
受取保険金	9,670	22,767
助成金収入	747,925	94,965
デリバティブ評価益	76,037	—
協賛金収入	64,503	63,363
原油スワップ差益	54,115	129,872
その他	33,502	21,842
営業外収益合計	1,485,497	398,537
営業外費用		
支払利息	104,539	92,706
支払手数料	35,597	37,172
シンジケートローン手数料	7,000	6,750
持分法による投資損失	17,749	—
デリバティブ評価損	—	117,515
その他	212	517
営業外費用合計	165,097	254,660
経常利益	751,504	184,110
特別利益		
固定資産売却益	—	253
投資有価証券売却益	—	114,031
新株予約権戻入益	18,987	29,622
持分変動利益	21,401	—
特別利益合計	40,388	143,907
特別損失		
固定資産除却損	29,441	4,049
減損損失	2,571,921	472,211
開業費償却	81,998	—
原状回復費	—	5,079
特別損失合計	2,683,362	481,339
税金等調整前当期純損失(△)	△1,891,468	△153,320
法人税、住民税及び事業税	197,775	151,092
法人税等調整額	△71,671	46
法人税等合計	126,103	151,138
当期純損失(△)	△2,017,572	△304,459
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△38,281	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,979,290	△304,459

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純損失(△)	△2,017,572	△304,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,197	1,862
為替換算調整勘定	△134,360	15,210
持分法適用会社に対する持分相当額	19,147	789
その他の包括利益合計	△90,015	17,862
包括利益	△2,107,587	△286,597
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△2,066,085	△286,597
非支配株主に係る包括利益	△41,502	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,683,193	3,271,825	△5,806,105	△36,305	1,112,606
当期変動額					
新株の発行	290,145	290,145			580,290
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,979,290		△1,979,290
自己株式の処分		△14,733		36,268	21,534
持分法の適用範囲の変 動			119,765		119,765
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)		2,235			2,235
当期変動額合計	290,145	277,647	△1,859,524	36,268	△1,255,463
当期末残高	3,973,338	3,549,472	△7,665,630	△37	△142,856

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	△28,006	△61,770	△89,777	308,164	—	1,330,993
当期変動額						
新株の発行						580,290
剰余金の配当						—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△1,979,290
自己株式の処分				△112		21,421
持分法の適用範囲の変 動		△17,658	△17,658			102,107
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	25,197	△112,390	△87,192	16,738		△68,218
当期変動額合計	25,197	△130,048	△104,850	16,625	—	△1,343,688
当期末残高	△2,808	△191,819	△194,627	324,789	—	△12,695

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,973,338	3,549,472	△7,665,630	△37	△142,856
当期変動額					
新株の発行	243,171	243,171			486,342
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△304,459		△304,459
自己株式の処分					—
持分法の適用範囲の変 動					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	243,171	243,171	△304,459	—	181,883
当期末残高	4,216,509	3,792,643	△7,970,090	△37	39,026

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	△2,808	△191,819	△194,627	324,789	—	△12,695
当期変動額						
新株の発行				△54,146		432,196
剰余金の配当						—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△304,459
自己株式の処分						—
持分法の適用範囲の変 動						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	2,652	15,210	17,862	16,450		34,312
当期変動額合計	2,652	15,210	17,862	△37,696	—	162,049
当期末残高	△156	△176,609	△176,765	287,093	—	149,354

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△1,891,468	△153,320
減価償却費	935,229	781,585
のれん償却額	20,703	—
株式報酬費用	47,328	40,193
減損損失	2,571,921	472,211
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△103	12,499
貸倒引当金の増減額(△は減少)	51,808	2,114
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,996	7,192
受取利息及び受取配当金	△9,006	△7,470
新株予約権戻入益	△18,987	△29,622
支払利息	104,539	92,706
為替差損益(△は益)	△467,143	△9,552
売上債権の増減額(△は増加)	14,237	△99,898
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,229	△791
未収消費税等の増減額(△は増加)	△4,372	173,761
未払消費税等の増減額(△は減少)	62,742	△468,420
仕入債務の増減額(△は減少)	△53,484	213,739
建設協力金の賃料相殺	75,889	62,689
未払金の増減額(△は減少)	△9,128	121,210
繰延資産の増減額(△は増加)	60,810	—
持分法による投資損益(△は益)	17,749	△25,157
デリバティブ評価損益(△は益)	△76,037	117,515
助成金収入	△747,925	△94,965
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△114,031
その他	212,945	△74,142
小計	899,479	1,020,044
利息及び配当金の受取額	7,885	6,502
利息の支払額	△105,049	△93,652
助成金の受取額	747,925	94,965
法人税等の支払額	△56,710	△191,625
法人税等の還付額	5,623	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,499,153	836,235

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△70,000	△59,280
定期預金の払戻による収入	17,500	59,280
有形固定資産の取得による支出	△471,302	△353,264
資産除去債務の履行による支出	△39,731	—
差入保証金の差入による支出	△203,683	△17,470
差入保証金の回収による収入	114,971	23,212
貸付金の回収による収入	457	466
投資有価証券の売却による収入	—	525,317
その他	△4,040	△2,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	△655,828	175,552
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△135,797	△315,447
長期借入金の返済による支出	—	△1,845,377
割賦債務の返済による支出	△40,864	△32,847
株式の発行による収入	568,678	432,196
非支配株主からの払込みによる収入	52,035	—
配当金の支払額	△8,832	△7
新株予約権の発行による収入	—	5,880
自己株式の処分による収入	21,431	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	456,651	△1,755,602
現金及び現金同等物に係る換算差額	84,822	791
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,384,798	△743,023
現金及び現金同等物の期首残高	4,788,176	6,172,975
現金及び現金同等物の期末残高	6,172,975	5,429,952

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、継続して重要な親会社株主に帰属する当期純損失を計上した結果、前連結会計年度末の純資産は12百万円の債務超過となりました。しかしながら、当連結会計年度においては、中国でのゼロコロナ政策に基づく臨時休業や減損損失の計上が大きく影響し、親会社株主に帰属する当期純損失となったものの、ファシリティ型新株予約権の行使による資金調達等により、当連結会計年度末の純資産は149百万円となり債務超過を解消いたしました。

一方で、当社の有利子負債については、すべての取引金融機関からの支援（返済猶予）を受けるなど理解を得られていますが、業績や財務体質が正常化するまで支援が確約されているものではないことから、当社グループは継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、有利子負債の圧縮等により金融機関との取引の正常化の早期実現に向けて注力しております。返済原資となる資金の獲得等の取り組みにより、業績の改善及び財務資本の強化を図りつつ、当該状況の解消、改善に努めてまいります。しかしながら、これら対応策は実施途上であることから、現時点においては継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を反映しておりません。

## (表示方法の変更)

## (連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めておりました「受取保険金」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度において独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示しておりました43,172千円は、「受取保険金」9,670千円、「その他」33,502千円として組替えております。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当連結会計年度において、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ243,171千円増加しております。

この結果、当連結会計年度において、資本金が4,216,509千円、資本準備金が1,563,109千円となっております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	連結財務諸表 計上額
	日本	中国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	8,374,579	1,662,265	10,036,845	—	10,036,845
外部顧客への売上高	8,374,579	1,662,265	10,036,845	—	10,036,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,995	—	32,995	△32,995	—
計	8,407,575	1,662,265	10,069,840	△32,995	10,036,845
セグメント利益または セグメント損失(△)	△476,694	45,828	△430,866	△138,028	△568,894
セグメント資産	16,982,162	3,329,824	20,311,987	△3,037,740	17,274,246
その他の項目					
減価償却費	615,686	305,867	921,553	13,676	935,229
のれん償却額	20,703	—	20,703	—	20,703
のれん残高	—	—	—	—	—
減損損失	1,204,081	1,367,840	2,571,921	—	2,571,921
持分法適用会社への投資額	—	—	—	326,339	326,339
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	276,005	112,063	388,069	—	388,069

- (注) 1 セグメント利益またはセグメント損失(△)の調整額△138,028千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント資産の調整額△3,037,740千円には、報告セグメント間の相殺消去△3,967,089千円、各報告セグメントに配分していない全社資産929,349千円が含まれております。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金預金、投資有価証券、関連会社株式、貸付金、管理部門に係る資産であります。
- 3 減価償却費の調整額13,676千円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産での減価償却費であります。
- 4 減損損失は、土地、建物、建物付属設備、構築物、工具器具備品、建設仮勘定等の有形固定資産及びソフトウェア、水道施設利用権等の無形固定資産及びのれんによるものであります。
- 5 持分法適用会社への投資額の調整額326,339千円は、各報告セグメントに属していないものであります。
- 6 セグメント利益またはセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	日本	中国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,667,259	1,101,638	12,768,898	—	12,768,898
外部顧客への売上高	11,667,259	1,101,638	12,768,898	—	12,768,898
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,667,259	1,101,638	12,768,898	—	12,768,898
セグメント利益または セグメント損失(△)	584,363	△393,826	190,536	△150,302	40,234
セグメント資産	16,031,695	2,715,808	18,747,503	△3,576,160	15,171,342
その他の項目					
減価償却費	534,708	237,499	772,208	9,377	781,585
のれん償却額	—	—	—	—	—
のれん残高	—	—	—	—	—
減損損失	114,940	357,271	472,211	—	472,211
持分法適用会社への投資額	—	—	—	345,086	345,086
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	424,103	21,265	445,369	—	445,369

- (注) 1 セグメント利益またはセグメント損失(△)の調整額△150,302千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント資産の調整額△3,576,160千円には、報告セグメント間の相殺消去460,184千円、各報告セグメントに配分していない全社資産△4,036,345千円が含まれております。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金預金、投資有価証券、関連会社株式、貸付金、管理部門に係る資産であります。
- 3 減価償却費の調整額9,377千円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産での減価償却費であります。
- 4 減損損失は、建物、建物付属設備、構築物、工具器具備品、建設仮勘定等の有形固定資産及びソフトウェア、電話加入権等の無形固定資産によるものであります。
- 5 持分法適用会社への投資額の調整額345,086千円は、各報告セグメントに属していないものであります。
- 6 セグメント利益またはセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	△16.33円	△6.04円
1株当たり当期純損失金額(△)	△99.20円	△14.20円

(注) 1 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純損失金額		
親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	△1,979,290	△304,459
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	△1,979,290	△304,459
普通株式の期中平均株式数 (株)	19,952,000	21,441,635

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	△12,695	149,354
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	324,789	287,093
(うち新株予約権)	(324,789)	(287,093)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	△337,484	△137,739
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	20,662,525	22,808,225

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### (1) 役員の変動

###### ① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

###### ② その他の役員の変動

該当事項はありません。